



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



夕映えのみなとみらいと日本丸

第34号 目次

院長ご挨拶	1
地域医療連携	2
病診連携施設紹介	
行事紹介	
第4回公開医療講座の開催について	3
戴帽式	5
登録医アンケートの調査結果がまとまりました	6
第65回 国立病院総合医学会に参加して	7
お知らせコーナー	8
核医学（RI）検査装置が新しくなりました！	
「国立病院機構QC活動」報告で	
関東信越ブロック最優秀賞を受賞	
看護学生募集のお知らせ	9

横浜医療センター研究会開催のお知らせ	9
新採用医師挨拶	10
医師の人事異動	
編集後記	
外来診療担当医表	11

発行 月：平成23年11月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：工藤 一大

住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2

電 話：045-851-2621

FAX ：045-851-3902

URL ：http://www.hosp.go.jp/ yokoham/



当院携帯サイトはこちらから

院長ご挨拶

暑かった夏もあっという間に終わり、急に涼しい秋そして冬になってまいりました。今年の夏は、東京電力の節電要請への積極的協力により計画停電は回避されました。当院でも冷房温度の調整などにより節電に努めましたが、患者さんの皆様にはご迷惑をおかけしたところもあったかとお詫び申し上げます。この冬も節電が要望されるようですが、当院も診療に支障のない範囲内で協力を継続していく予定です。

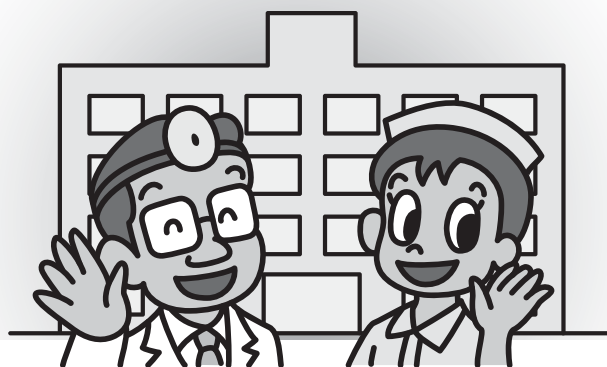


病院長 工藤 一大

福島では放射線被害を避けるため避難されている方々の一時帰宅が行われていますが、国立病院機構では一時帰宅者のための医療支援を継続しております。今回の大震災を経験し、一般企業では災害にあった時にも事業を継続できるように計画をたてておくBCP(事業継続計画)が見直されているようですが、当院もこのような視点から災害対策をもう一度すべて見直し、組み立てる必要性を感じており、検討を始めているところです。

10月には岡山で国立病院総合医学会がありました。当院では各部門から42題もの一般演題を発表しましたが、実にうれしいことにこのうち9題がベスト口演賞、ベストポスター賞をいただきました。また、病院の質改善のための運動QC活動の部門では、当院からの演題が関東信越ブロックで最優秀賞を頂きました。これらは病院内のあらゆる部門が各業務の見直し、改善改革に取り組んできた表れであり、評価されたことと思います。平成23年7月には『日本医療機能評価機構認定(一般病院・Vr6.0)』の認定を受けました。更に当院の医療の質向上に向けこれからも職員一丸となって努力を続けたいと考えております。

平成24年4月には6年に一度の診療報酬・介護報酬の同時改定が予定されています。地域における急性期病院から在宅ケアまでシームレスな連携がより一層重要視されるとの報道もあります。当院も地域の診療所、病院、介護施設などと今後もより一層緊密な連携をし、地域が一体となった患者中心の医療体制を築いていきたいと考えております。



地域医療連携

病診連携施設紹介 ふじわらクリニック

診療科目：内科・小児科・外科・皮膚科

平成17年7月、汲沢町で外来、在宅型の内科・外科クリニックを開業いたしました。以前は、病院の外科勤務医として病気を治すことを優先として診療しておりました。

現在は「プライマリー医」として小児から高齢者まで専門性を問わない外来診療と、がん末期・神経難病・老衰など治らない、治すことの出来ない人達の在宅診療を行っております。開業後6年が経過し地域医療実践の中で多くの「在宅死」を経験しました。



左から3番目が院長

日常診療の延長線上で、患者・家族にとってのAwayではなくHomeにおいて終末期に関して取り組むことに、私のような開業医の存在意義があると感じております。

「看取り」を含め、在宅では24時間連携体制としていますが、いつでも重症患者のリスクを背負っている医療センターの医師に比べると決して苛酷であるとは思っておりません。

最先端医療を含め医学的治療に専念している病院に終末期・看取りを要求することは無理であり、早期にシームレスな「在宅」へのシフトが必要と常々考えております。今後も是非「顔の見える病診連携」をお願いいたします。



ふじわらクリニック

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町163
TEL:045-871-2905 FAX:045-871-2895

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00 ~ 12:30			/			/	/
午後 16:00 ~ 18:30			/				/

土曜午後 14:30 ~ 18:30

休診日 水曜・日曜・祝日

行事紹介

第4回公開医療講座の開催について

地域中核連携係長 濱井 俊充

これまで病院2階にある大会議室で開催してきた公開医療講座ですが、今回は初めての試みとして、病院の外に会場を移し、9月29日(木)に戸塚区の区民文化施設である戸塚公会堂で開催しました。



当日の公開講座は、第1部で戸塚区民オーケストラによるアンサンブル(木管三重奏・弦楽合奏)、第2部で「認知症と物忘れ外来」をテーマに横浜医療センター精神科部長の武川医師が「認知症～その原因と症状、物忘れ外来とは?～初期診断と初期治療」、認知症の包括的ケア(治療と介護)のために、とMSW(メンタル・ソーシャルワーカー)の高瀬さんが「家族の対応は?」について講演を行いました。

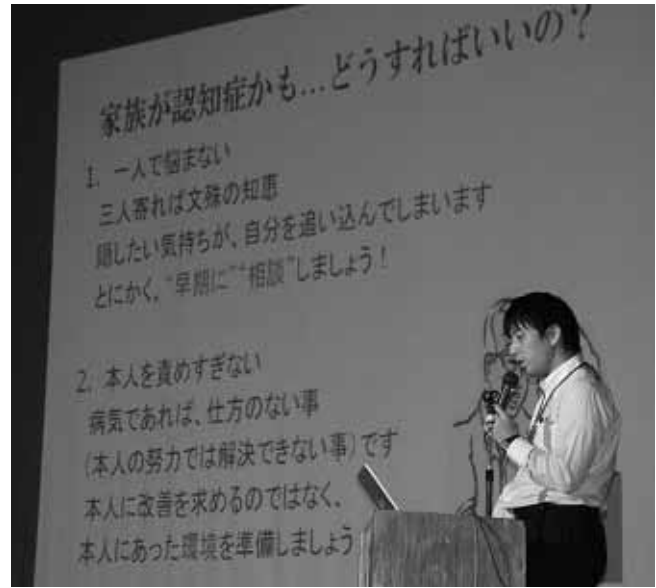
【第1部】木管三重奏



【第1部】弦楽合奏



【第2部】 公開医療講座「認知症と物忘れ外来」



会場が戸塚駅から徒歩5分という好立地であるためか、参加者は過去最高の243名を記録しました。

戸塚区民オーケストラ

戸塚区在住のプロ・アマ音楽愛好家が集まって設立した、横浜市内初の区単位のオーケストラ。

【当日のプログラム】


平成 23 年 9 月 29 日 (木)
戸塚公会堂 講堂

横浜医療センター 第4回 公開医療講座 プログラム


14:00 ~ 14:30

【第1部】 戸塚区民オーケストラによるアンサンブル

(木管三重奏)
 曲目：ディベルティメントからラルゲット (モーツァルト)
 2つのダンス (ポール・ケプケ)
 浜辺の歌



(弦楽アンサンブル)
 曲目：見上げてごらん夜の星を
 私のお気に入り 「サウンド・オブ・ミュージック」より
 日本の秋 ちいさい秋みつけた～里の秋




ふるさと

14:40 ~ 16:30

【第2部】 講演「認知症と物忘れ外来」

(内容)
 ① 認知症 ～その原因と症状～
 ② 物忘れ外来とは？ ～初期診断と初期治療～
 ③ 認知症の包括的ケア (治療と介護) のために
 ④ 家族の対応は？



(講師)
 横浜医療センター 精神科部長 武川 吉和
 横浜医療センター メディカルソーシャルワーカー 高瀬 昌浩

【参加者の声】

大変参考になりました。次回も参加したいと思います。

素晴らしいコンサートがあると元気になれると思いました。

食生活の指導についてもお願いしたい。

このような講座を年に2回くらい開催して欲しい。

今後とも積極的に公開講座を開いて欲しい。貴センターに期待するところ大です。



行事紹介

戴帽式

看護学校 教員 金井 千絵

1年生は少しの不安と大きな希望を胸に入学して7カ月が経ちました。人体の構造や機能、看護学の授業を通して、患者さんが安全・安楽に過ごすことができるようにという配慮に基づいた根拠があることを学び日々学習しているところです。

平成23年10月21日、第49回生の戴帽式が来賓、病院関係者、保護者の方々の見守りの中、本校体育館にて行われました。厳粛な雰囲気の中今年度の戴帽生77名にナースキャップとエンブレムが戴帽されました。

戴帽式とは、看護師の象徴であるナースキャップを戴き、手にしたろうそくにナイチンゲール像の灯火を灯して、看護の道へ進む決意を新たにする儀式です。

学生たちは、戴帽式に向けてナイチンゲール誓詞の暗唱やナイチンゲール賛歌、聖火継承などの練習を係りの学生を中心に放課後の時間も使いながら、クラス全体で練習を行いました。当日は、戴帽の儀では緊張しながらも決意を新たにした学生たちの姿を見ることができました。そして、何度も何度も練習を重ねて、1年生が力を合わせたその成果が、厳かな聖火継承、息の合ったナイチンゲール誓詞の暗唱、ピアノ伴奏での美しいハーモニーのナイチンゲール賛歌となりました。多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。

そして、その後、1年生への温かな思いがこもった上級生によるアーチをくぐり戴帽式は終了しました。学校全体がひとつになった場面をみることができました。

1年生はこれからますます看護師になるべく専門的な知識や技術、態度について学んでいくこととなります。学生たちの灯した灯火を消すことのないように育て次の後輩たちに受け継いでいけるように私たち教職員一同一層努力していきたいと思えます。

皆様も49回生を今後も温かく見守りくださいますようお願いいたします。



登録医アンケートの調査結果がまとまりました

平成23年8月に登録医の皆様にお願したアンケートの調査結果が、次のとおりまとまりましたので報告いたします。

主なものとして、土日・夜間の受付職員の対応、FAX予約、患者紹介を受けた後の登録医への最終報告など課題が明らかとなりました。

これらの調査結果を、引き続き病院の改善に役立てて参ります。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケート集計結果総括表

発送数： 422	有効回答数： 166	回答率： 39.3%	発送日： H23.8.15
----------	------------	------------	---------------



横浜医療センター

地域医療連携室
〒245-8575
横浜市戸塚区原宿 3-60-2
電話：045-853-8355 FAX:045-853-8356

登録医の皆様

アンケートにご協力を

お願いします

(アンケート結果については、個人情報に配慮するとともに、データ処理のうえ「はらじゅくかわら版」などに公表してお知らせし、病院の改善に役立てて参ります。)

貴医療機関の所在区・市はどちらですか？(にレ点でチェックしてください。)

1 戸塚区	泉区	瀬谷区	旭区	保土ヶ谷区	西区	栄区	藤沢市	鎌倉市	その他
(44) 回答数	(25)	(6)	(13)	(11)	(14)	(5)	(28)	(17)	(3)
(以下同じ)									

横浜医療センター (以下質問項目では「センター」と略します)のイメージ 印象について

2 センターに対するイメージ 印象はどれに近いですか？ 回答数(以下同じ) (ひとつ選択)	3 そう思った理由に、最も近いものはどれですか？ (複数選択可)
(113) 「良い」 (48) 「どちらかと言えば良い」 (2) 「どちらかと言えば悪い」 (0) 「悪い」 (3) 無回答	(79) 応対など感じが良い(悪い)から (62) 機器 設備 環境などが良い(悪い)から (83) 医療技術 診療体制などが良い(悪い)から (58) これまでのセンターとの経緯 関係などから (6) その他 (新築したので 紹介を断られた事がない)
4 設備 環境 医療技術について、改善が必要だとすれば、主にどんな点ですか？ (複数選択可)	5 応対等について、改善が必要と思われる職種があるとなれば、主にどの職種ですか？ (複数選択可)
(23) 最新鋭(高度)診療機器の導入 (40) 最新(高度)治療法 技術の導入 (35) 未導入専門医療の実施 技術の向上 (11) その他(紹介患者の受入(2)他)	(34) 受付職員(土日・夜間) (9) 受付職員(平日昼) (11) 医師 (5) 看護師・その他()

このつづきは当院ホームページでご覧になれます。

(横浜医療センタートップページ

地域医療連携・登録医 <http://www.yokohama-mc.jp/info/tourokui.html>)

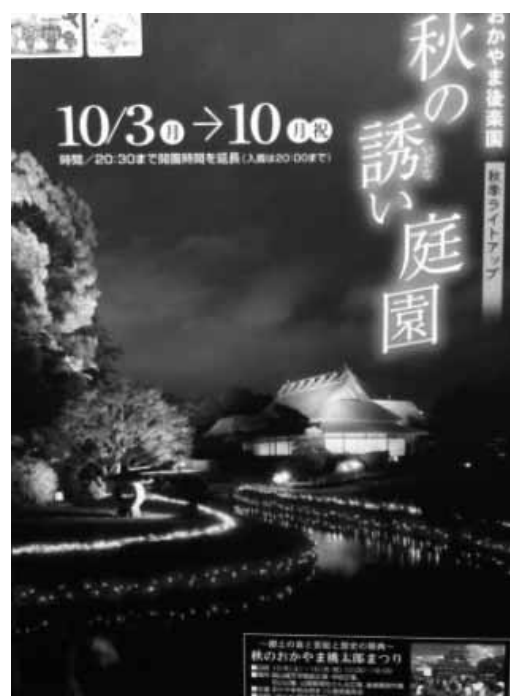
第 65 回 国立病院総合医学学会に参加して

業績評価係長 大島 剛俊

10月7日(金)及び8日(土)に岡山市にて国立病院総合医学学会が開催されました。末席汚しではありませんでしたが参加して来ましたので、そのご報告をさせていただきます。

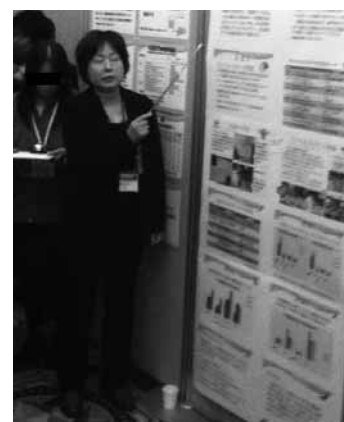
国立病院総合医学学会とは、全国に144ある国立病院機構の病院と国立高度医療センターに所属する職員が研究や業務上の工夫などの成果を発表し、相互の研鑽に努める場として毎年一回開催されている学会です。全国を6つの地域にわけ、地域ごとの持ち回りで開催されています。

例年、1万人近い職員がこの学会に参加しますので、ちょっとしたイベントの様を呈しています。右の写真は岡山駅前の高島屋にかけら



れていた垂れ幕です。見づらいですが、「歓迎 国立病院総合医学学会」と書かれています。今回は岡山駅を挟んでホテルグランヴィア岡山と岡山全日空ホテルの2会場があり、会場間の移動は駅構内を通り抜けるレイアウトになっていました。岡山駅は駅ビルが併設されていて、中はお店がいっぱいです。「つい、思わず」計画外の出費を反省したのは私だけでは…。また、期間中は偶然にも有名な後楽園(注)遊園地ではありません」と岡山城のライトアップと夜間拝観が行われていました。幻想的な光景は岡山での夜を一層思い出深いものとしてくれました。

さて肝心の学会の内容ですが、今回当センターからは42題もの演題がエントリーされ、近年無いほどの充実した発表を行いました。聴講も含めると50名を超える職員が参加し、9演題ではセッションの中で優れた発表に送られるベスト口演賞・ベストポスター賞の栄誉を得ました。質の高い医療・安全な医療の提供を心掛けてきた成果だと思っています。これからも日々の研究と修養に努めていきたいと思ひます。



お知らせコーナー

核医学(RI)検査装置が新しくなりました！

放射線科

平成23年9月より核医学(RI)検査装置が、ドイツ シーメンス社製の最新装置(Symbia S)となり、旧装置に比べ画像の向上、検査時間の短縮による患者さんへの負担が軽減されました。

この検査は微量な放射性同位元素(RI:ラジオアイソトープ)を含んだ薬(放射性医薬品)を静脈より注射し、その流れ方や分布を体内から外へ出てきた放射線の量を測定し、臓器の機能や組織の活性化を調べます。例えば脳や心臓などの梗塞の診断やがんの有無、また最近では認知症の早期診断に役立っている優れた検査です。

検査を受けるにあたり安全面では放射性医薬品の放射能は微量で、時間とともに少なくなる性質をもっています。さらに一部は体内で代謝されて体外へ排出され、長時間からだに残る心配はありません。また、当院では放射性医薬品取扱ガイドラインに則り適切な放射線の量を使用しておりますので、安心して検査をお受け下さい。

他の医療機関からの紹介者様の検査も受付けております。検査予約は地域医療連携室(TEL:045-853-8355)までご連絡をお願いします。

*本装置はPET検査には対応しておりません。



「国立病院機構 QC 活動」報告で関東信越ブロック最優秀賞を受賞 安全管理室

国立病院機構では、地道な業務改善活動に光をあて、その取組を共有の財産として広く紹介する制度として、「QC活動奨励表彰」を5年前から行っています。今年度、当院のエックス線透視室と血管撮影室で患者さんの確認方法として導入しています「タイムアウト」の内容を紹介しました。

医療で行う「タイムアウト」とは、いろいろな作業を行っている関係者が、それぞれの作業を一時的にとめ全員で患者情報を再確認することです。手術室では良く行われていますが、検査室で行っている施設は全国的に見てもほとんどありません。この取組が安全確認の質の向上に繋がると高い評価を得、関東信越ブロックで最優秀賞を受賞し、また全国大会「できることから始めよう！国立病院機構QC活動」で優秀賞を受賞しました。

当院では、患者誤認防止のために何度もお名前を名乗って頂いております。患者の皆様には煩わしいこともお有りでしょうが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後も安全管理室を中心に一致団結し、安全で安心できる医療を目指します。

：国立病院機構は全国にある144病院を6つのブロックに分けています。関東信越ブロックには、1都9県、33病院があります。



看護学生募集のお知らせ



独立行政法人国立病院機構
横浜医療センター附属横浜看護学校
お申し込み受付中!!

学校説明会

アットホームな雰囲気の中で、ミニ講義を受けたり、
看護技術の体験をしてみませんか？

当日は、当校の先輩が皆様をご案内いたします。
この機会にぜひ横浜看護学校を見にいらして下さい。

受付 9時～9時30分
説明会 9時30分～12時30分

お電話、Mailで、事前にお申し込み下さい

12月 3日(土)【公開講座】

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2

【問合せ】TEL : 045 (853) 8322

【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>



横浜医療センター研究会開催のお知らせ

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 / 奇数月第2月曜日 午後7時～

開催場所 / 当院大会議室

連絡先 / 小松臨床研究部長・松島消化器科部長
045-851-2621 (代)

研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、
ご連絡下さい。



新採用医師挨拶



整形外科医師
林 陸

9月16日付で着任しました、整形外科の林 陸と申します。当科は外傷、スポーツ障害、変性疾患、そして日常的な動作による問題等、体を支える骨格・運動器の問題を扱っておりますが、これらの問題の解決のために病院にいらした方々のお役に少しでも立てればと考えております。

私個人としましては2年間の海外留学を経ての着任となり相当の緊張を持っての働き始めになると思われましたが、当院には臨床工学技士や医師等、以前から顔見知りである方々が多くいらしたので就任の緊張を感じることなくスタートを切ることができました。ありがとうございました。これから整形外科の一員として様々な面において当院を盛り上げていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



小児科医師
鋤持 孝博

平成23年10月1日付けで着任した小児科の鋤持孝博です。私事ではありますが、中学高校とこの近辺に通っていたこともあり、高校卒業から10年以上経ってここに赴任してきたことに、不思議な縁を感じています。小児科医としてはまだまだ若輩者であり、様々な場面で皆様の御迷惑になることもあると思いますが、よろしくお願い致します。



小児科医師
平田 理智

平成23年10月1日付けで着任した小児科の平田理智です。小児科医としては2年目であり、昨年の横浜南共済病院に続いて二つ目の市中病院となります。小児科はこどもの全身を幅広い年齢に渡って診る科であるため、他科の先生やコメディカルの方々にお世話になることも多々あるかと思えます。若輩者であり、至らぬところもあるかと思えますが、みなさまのお力添えを頂き、一人でも多くの子を元気にするため努力していきたく思います。何卒宜しくお願い申し上げます。



産婦人科医師
大村 涼子

10月から異動してきました。後期研修2年目です。半年と短いですが、よろしくお願い致します。

よろしくおねがいします！



医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	発令年月日	発令	職名	氏名
23.9.16	採用	整形外科医師	林 陸	23.7.3	退職	循環器科医師	関口 治樹
23.10.1	採用	小児科医師	鋤持 孝博	23.7.31	退職	整形外科医師	安羅 有紀
23.10.1	採用	小児科医師	平田 理智	23.9.30	退職	小児科医師	小張 真吾
23.10.1	採用	産婦人科医師	大村 涼子	23.9.30	退職	小児科医師	石橋 麻由
				23.9.30	退職	産婦人科医師	石川 貴久

編集後記

だいぶ秋らしさを感じられるようになりました。「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」いろいろ秋もありますが、深まる秋を楽しみたいと思います。

街頭では、今年もイルミネーションが点灯し始めました。横浜医療センターのシンボルツリーも節電を配慮し時間短縮をしてイルミネーションを点灯いたしました。

日に日に寒さを感じられるようになりました。そろそろインフルエンザの流行する季節になります。みなさまもお体には十分お気を付けください。

診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一 河合 駿 梶持 孝博	菅井 和子 本井 弘尚 檜佐 香織	菅井 和子 矢竹 暖子 神垣 佑	鈴木 陽一 山澤 隆二 村田 宗紀	福山 綾子 小林 慈典 平田 理智	
	心臓血管外科 形成外科	盆子原 幸宏	手術日 村下 一晃	東館 雅文 手術日	鈴木 剛 東館 雅文 村下 一晃	東館 雅文 村下 一晃 杉元 紳太郎	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	整形外科	国府 秀俊 杉元 紳太郎 藤巻 洋	日塔 寛昇 橋本 政敏 国府 秀俊	藤巻 洋 門脇 純弘	橋本 政敏 林 陸	門脇 純弘 林 陸	※予約患者のみ。
						日塔 寛昇(※)	
外来受付 B	総合内科外来	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	
	糖尿病内分泌内科	日比 朝子 高木 佐知子	高木 佐知子	宇治原 誠	宇治原 誠		
	神経内科	中村 治子	菅原 恵梨子	上木 英人	遠藤 雅直	高橋 竜哉	
	腎臓内科	松下 啓	岡田 環奈	涌井 広道	松下 啓		
	呼吸器内科	塩原 康正	検査日	山川 泰	検査日	榎原 基史 ■山根 章(肺結核)	▲:紹介状持参の方のみ ■:午後の予約のみ
	消化器内科	▲交代医師 (初診のみ)	塩賀 太郎(初診) 鈴木 大輔 ■小松 達司	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野登 はるか ■小松 達司	交代医師(初診) 小松 達司	
	循環器内科	内田 吉枝	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中直秀(午前)	岩出 和徳	《循環器科新患当番医》*(月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出]
	リウマチ科	初診:交代(*) 曾我 隆義	初診:田中 直秀 宮城 瑠美子	初診:岩出 和徳 検査日	初診:岩出 和徳 宮城 瑠美子	曾我 隆義 ■宮城 瑠美子	
	外科	清水 哲也 後藤 晃紀 堀井 伸利	関戸 仁 松田 悟郎 森 康一	松田 悟郎 嶋田 和博 行田 悠	関戸 仁 松田 悟郎 清水 哲也 嶋田 和博	急患のみ (交代医師)	
			石川 善啓 正津 晶子		正津 晶子 石川 善啓	坂本 和裕 正津 晶子 市川 輝夫	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、 直接ご連絡ください。 ▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ●:第1・3・5週(水)郭 樟吾 第2・4週(水)谷野 慎 ※脳ドッグの詳細はPM2:00~5:00の間に 「医事 脳ドッグ受付」までお問い合わせください
	脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲ 交代医師	● 交代医師 ※(脳ドッグ) 向原 茂雄	急患のみ (手術日)		
	外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸 手術日
眼科		清水 康平 木村 正彦	清水 康平 木村 正彦	清水 康平 木村 正彦	清水 康平 木村 正彦	手術日	火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30~10:00
泌尿器科		本田 直康 奥野 紀彦※	本田 直康 奥野 紀彦※	手術日	奥野 紀彦	本田 直康 笹本 浩子	※外来時間は11:00~12:00まで
皮膚科		齊藤 典充 片山 智恵子	齊藤 典充 片山 智恵子	齊藤 典充 手術日	齊藤 典充 片山 智恵子	齊藤 典充 片山 智恵子	水曜日は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。
外来受付 D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	初診は一般・小児心身症のみ。要紹介状。1日1人まで。
	精神科	森田 睦郎	武川 吉和	安藤 豪	山口 和己	武川 吉和	※月~金:初診の方は10時までに受付を済ませて下さい。(要紹介状、1日2名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	産婦人科	向田 一憲	小笠原 良治	窪田 与志	柴杉 輝彦	中村 秋彦	
	産科	窪田 与志	長谷川 瑛	後藤 美緒	高木 偉博	向田 一憲	
専門外来 (完全予約制)	小児科	アレルギー検査	感染免疫・アレルギー	アレルギー(菅井)	フォローアップ外来	予防接種(交代制) 13:30-14:30	
		シナシス(10~3月)	フォローアップ外来 (矢竹)	アレルギー(村田/鈴木)	1カ月健診 (交代医師)	神経外来 (本井)	
		アレルギー(菅井)	アレルギー(長瀬) フォローアップ外来(福山)	慢性疾患外来(※)	1カ月健診 (交代医師)	循環器外来(鈴木)	※第1, 3, 5週 山澤 第2, 4週 檜佐
		アレルギー(鈴木)	アレルギー(鈴木)				
	整形外科		スポーツ整形外科(国府)				毎週15:00~16:00
	神経内科		頭痛外来				地域連携室を通して完全予約制
	糖尿病 内分泌内科	糖尿病連携バス外来					
	腎臓内科			腹膜透析外来			
	看護部			糖尿病看護ケア外来	糖尿病看護ケア外来		
	麻酔科	ペイン・緩和外来		糖尿病フットケア外来	糖尿病フットケア外来	ペイン・緩和外来	地域連携室を通して完全予約制
	外科			ペイン・緩和外来			
	耳鼻咽喉科			スキンケア外来(※)	乳がん検診 補聴器外来(午後)		
循環器科			ヘア・スモーカー外来	睡眠時無呼吸 症候群外来			
精神科		物忘れ外来				初診には紹介状が必要。1日2名の予約制。	
産婦人科	助産師外来 母乳外来(午後)	助産師外来 母乳外来(午後)	助産師外来 母乳外来(午後)	助産師外来 母乳外来(午後)	助産師外来 母乳外来(午後)	(※)午後のみ。夫立会教室は第2, 4週土曜日、第3週日曜日。	
放射線科	母親教室(※) 小田切 一将 注①	母親教室(※) 菅川 由美子 注②	母親教室(※) 種多 政治 注①			※注①9:00~11:00 ※注②13:30~15:30	

初診受付: 平日 8:30~10:00
再診(予約外)受付: 平日 8:30~10:00
休日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日~1月3日
地域医療連携室(脳ドッグ受付)(TEL 045-853-2331)

急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廊等が点在していました。

